

平成28年度

発達障がい者就業支援 コーディネーター事業

相談者の状況
(平成29年3月31日時点)

大阪市障がい者就業・生活支援センター

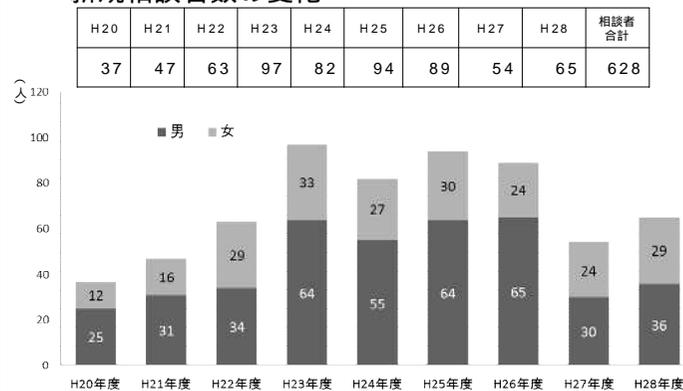
【1】登録者の状況

		平成27年度	平成28年度
登録者数		277名	222名
内訳	前年度からの 継続相談者	223名	157名
	新規相談者	54名	65名

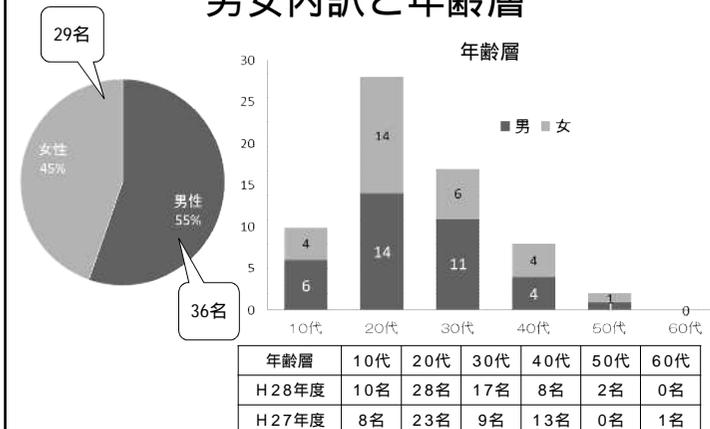
・「登録者」とは、継続した就労支援を希望している者

【2】平成28年度新規相談者の状況

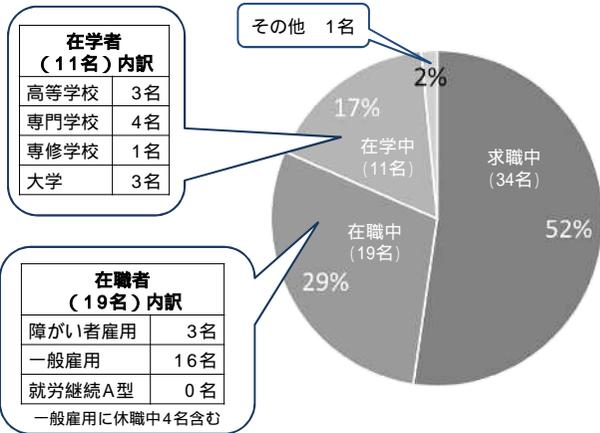
新規相談者数の変化



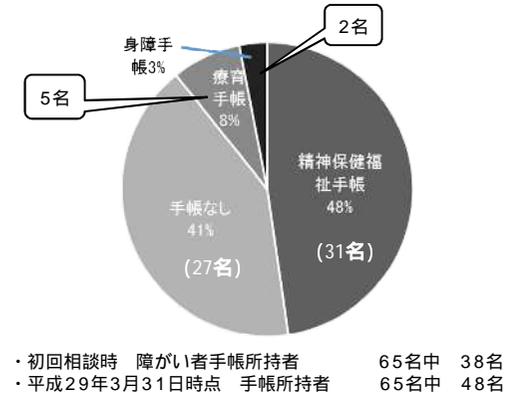
新規相談者の 男女内訳と年齢層



新規相談時の状況



新規相談時に所持していた障がい者手帳の種類



新規相談者の相談経路 (どこから紹介されたか)

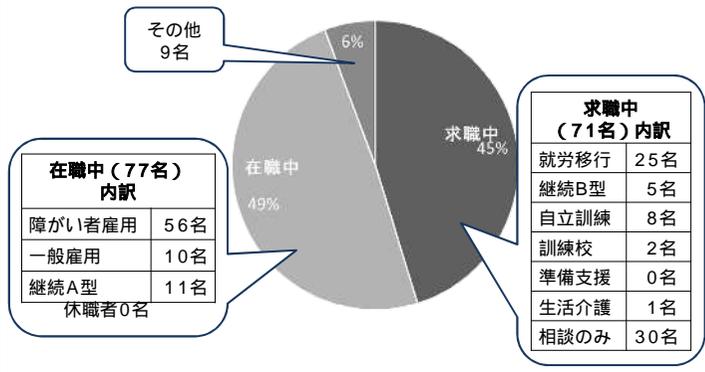
	H27年度	H28年度
ホームページ	12名	11名
医療機関	9名	15名
ハローワーク	6名	9名
家族・知人	5名	3名
エルムおおさか	5名	4名
区役所	4名	9名
学校	3名	2名
障害者職業センター	2名	2名
はーとふるぶらざ	2名	1名
若者・一般向け相談機関	2名	5名
就労移行支援事業所	2名	1名
企業	1名	2名
その他(困窮者支援等)	1名	1名

新規相談者への関わり (どんな社会資源につながったか)

支援内容	支援人数(のべ)
情報提供のみ(初回相談で終了)	15名
定期的な相談	6名
訓練施設の見学	24名
訓練施設の体験利用	14名
職業評価(障害者職業センター)	17名
職業準備支援(障害者職業センター)	7名
訓練施設の利用(就労移行支援)	4名
訓練施設の利用(就労継続B)	4名
訓練施設の利用(委託訓練)	1名
ハローワーク同行	4名
医療機関との連携	9名

【3】継続相談者の状況

継続相談者（157名）の内、
90%が障がい者手帳を所持している



【4】登録者への相談・支援 (登録者 = 新規相談者 + 継続相談者)

相談・支援件数 (内容別・延べ件数)

	H27年度	H28年度
就職に向けた 相談・支援	1070件	1507件
職場定着に向けた 相談・支援	606件	814件
就業と生活両方にわたる 相談・支援	208件	470件
合計	1884件	2791件

相談・支援件数 (手段別・延べ件数)

	H27年度	H28年度
センターへの来所	347件	325件
電話・FAX・メール	1064件	1935件
職場訪問 (のべ訪問回数)	105件	109件
家庭・入所施設への訪問	19件	9件
その他 (ハローワーク、医療機関、区役 所等への同行、ケース会議等)	349件	413件
合計	1884件	2791件

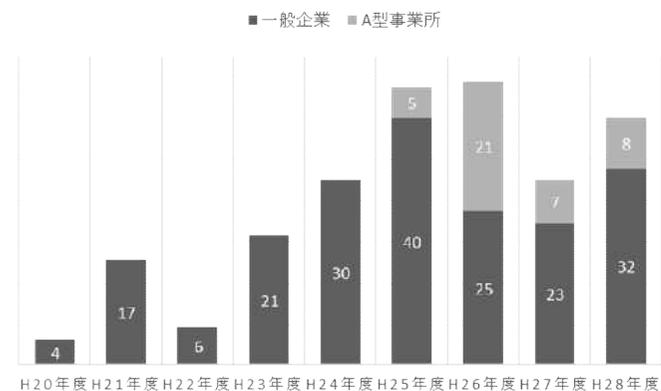
相談・支援で連携した機関

就職に向けた 相談・支援	ハローワーク、障がい者職業センター 医療機関、はーとふるぶらざ、エルム、 区役所 (福祉・生保・困窮者窓口等) 相談支援事業所、各種学校、一般向相談窓口 障がい者福祉サービス事業所 (就労移行、継続A・B、自立訓練等) 職業能力開発施設、体験実習先の企業など
職場定着に向けた 相談・支援	就職先企業 (人事・現場担当者、産業医等) ハローワーク、障がい者職業センター 医療機関、相談支援事業所、 就労移行など職業訓練を受けていた機関 区役所 (福祉・生保・困窮者窓口等)
就業と生活両方に わたる相談・支援	ハローワーク、障がい者職業センター 区役所 (福祉・生保・困窮者窓口等) 相談支援事業所、訪問看護ステーション、 障がい者福祉サービス事業所 (ショートステイ、ヘルパー、ケアホーム) 医療機関、地域包括支援センターなど

職場定着支援・職場復帰支援

本人に対する支援	H27年度	H28年度
支援対象者（在職中の方）	113名	96名
職場定着に向けた相談・支援 （来所相談、電話等、職場訪問、家庭訪問など）	606件	814件
職場訪問件数（のべ）	75件	87件
職場訪問実人数	24名	26名
事業所に対する支援	H27年度	H28年度
支援を実施した事業所	30件	37件
来所	2件	2件
電話（メール、FAX含む）	117件	113件
職場訪問	40件	64件
その他（ケース会議等）	3件	3件

【5】就職者数



平成28年度就職者一覧

	障害者手帳	診断名	年代	就職時における一般枠の有無	就職までに要した期間(月)	定着状況	職種・業種	週労働時間	相談経路	初回相談時の状況		利用した社会資源等
1	知的	広汎性発達障害	40		36ヵ月	1か月で退職	軽作業・商品管理	30時間以上	就ボツ	求職中	他地域の就ボツで相談していたが、担当者との折り合いが悪くなった。	就労継続A型事業所を利用しながら転職活動。
2	精神	自閉症スペクトラム	20		8ヵ月		技術職(通信機器)	30時間以上	職業訓練校(一般向け)	在学中訓練校	一般向け職業訓練校で訓練中	職業評価(職業センター)で障がい特性や傾向の整理。
3	精神	広汎性発達障害	40	クローズ	12ヵ月(転職)		施設管理	30時間以上	ハローワーク(障害者窓口)	求職中	障害者雇用で働いていたが、退職	職業訓練校(一般向け)で設備管理の技術を身につけて転職。
4	精神	広汎性発達障害	40	クローズ	2週間(転職)	2か月で退職	事務職	30時間以上	ホームページ	在職中クローズ	一般枠で働いていたが、体調不良で休職中。転職希望。	職業評価(職業センター) 職業準備支援(職業センター)
5	精神	ADHD 広汎性発達障害	20		1ヵ月	1か月で退職	事務補助	30時間以上	ハローワーク(障害者窓口)	在職中クローズ	一般枠で働いているが、転職希望	退職後、職業評価(職業センター)と職業準備支援(職業センター)を利用
6	知的	広汎性発達障害(知的障害重複)	40		4ヵ月		介護補助	30時間以上	就労移行支援	求職中	就労移行支援事業所から就職活動についての相談	職場実習の手配 就労移行のスタッフと連携
7	精神	ADHD 広汎性発達障害	30		35ヵ月		事務補助	30時間以上	エルムおおさか	求職中	仕事があまくいかず障害を疑い相談	職業評価(職業センター) 職業準備支援(職業センター)
8	精神	広汎性発達障害	30		16ヵ月		事務補助 特例子会社	30時間以上	エルムおおさか	求職中	就職活動があまくいかず相談	就労継続A型事業所を利用しながら転職活動。
9	知的	広汎性発達障害 てんかん	20		3ヵ月(転職)		介護職	30時間以上	はーとふるぶらざ	在職中クローズ	一般枠で働いているが、転職希望	支援後、障がい者向けヘルパー講習受講、障がい者枠で就職するが、人間関係に悩み転職。
10	知的	ADHD (知的障害重複)	20		4ヵ月	2か月で退職	調理補助	30時間以上	ホームページ	求職中	就職活動があまくいかず相談	職場実習の手配 離職後、就労移行支援事業所を利用
11	精神	自閉症スペクトラム	20	クローズ	1ヵ月	1か月で退職	補充作業員	30時間以上	就ボツ	求職中	障害者枠と一般枠を迷い相談	離職後、就労移行支援事業所を利用
12	精神	広汎性発達障害	20		31ヵ月		事務補助	30時間以上	医療機関	求職中	前職(クローズ)を体調不良で退職 障害者手帳取得後の相談	職業評価(職業センター) 就労移行支援事業所
13	精神	広汎性発達障害 抑うつ状態	40		6ヵ月	6か月で退職	倉庫内業務	30時間以上	就労移行支援	求職中	就労移行支援事業所から就職活動についての相談	職場実習の手配 離職後、就労移行支援事業所を再利用
14	精神	アスペルガー症候群	30		5ヵ月		事務補助	30時間以上	ホームページ	求職中	一般枠で働いた経験あり。 就職活動があまく行かず相談。	職業評価(職業センター) 職業準備支援(職業センター)
15	精神	広汎性発達障害	30		14ヵ月(転職)		食品加工工場	30時間以上	ハローワーク(障害者窓口)	求職中	一般枠で働いた経験あり。 就職活動があまく行かず相談。	支援後障がい者雇用で3年半働くがステップアップを目指し退職 職業評価(職業センター)、就労移行支援事業所を利用し転職
16	精神	広汎性発達障害	20		39ヵ月		事務補助	30時間以上	親の会	在学中 大学	大学卒業後の進路についての相談	就労移行支援事業所
17	知的	広汎性発達障害(知的障害重複)	20		18ヵ月(転職)		工場内作業	30時間以上	はーとふるぶらざ	求職中	専門学校中退後、一般枠で働くが退職。 障害者手帳取得後の相談。	支援後、障がい者雇用で働くが人間関係に悩み1年で退職 離職後、職業能力開発校で訓練し再就職。
18	精神	アスペルガー症候群	20		9ヵ月	3ヶ月で退職	事務補助	30時間以上	ホームページ	求職中	一般枠で働いていたが、苦勞することが多く発達障害を疑って相談	職業評価(職業センター)、職業準備支援(職業センター) ジョブコーチ支援(職業センター)
19	精神	広汎性発達障害	20	クローズ	2ヵ月		販売	20時間以上 30時間未満	ハローワーク(障害者窓口)	求職中	アルバイト経験はあるが、現在はひきこもり	就労移行の見学をするが、「すぐにお金が必要だ」とアルバイトを開始。
20	精神	広汎性発達障害	30	クローズ	6ヵ月(転職)	1週間で退職	工場内作業	30時間以上	困窮者支援	求職中	一般枠で働いた経験あり。 就職活動があまく行かず相談。	支援後、障がい者雇用で働くが人間関係に悩み2年半で退職 離職後、ハローワークで就職活動。

	障害者手帳	診断名	年代	就職時における一般の有無	就職までに要した期間(月)	定着状況	職種・業種	週労働時間	相談経路	初回相談時の状況		利用した社会資源等
21	精神	広汎性発達障害	20		27ヵ月		軽作業・商品管理	30時間以上	区役所	求職中	就職活動がうまくいかず相談	就労移行支援事業所 ジョブコーチ支援(職業センター)
22	知的	発達障害	20		1ヵ月	1週間で退職	調理補助	20時間以上 30時間未満	ハローワーク (障害者窓口)	求職中	過去に支援機関に登録していたが、疎速に、 就職活動に行き詰って相談。	面接同行。 職場実習の実施
23	精神	自閉症スペクトラム	30	クローズ	1ヵ月		保育補助	20時間以上 30時間未満	医療機関	在職中	一般枠で働いているが、転職希望	定期的な相談
24	精神	自閉症スペクトラム	30		20ヵ月		事務補助	30時間以上	医療機関	在職中	一般枠で働いているが、転職希望	就労移行支援事業所
25	精神	自閉症スペクトラム ADHD	30		10ヵ月		事務補助	30時間以上	医療機関	求職中	一般枠で働いた経験あり。 就職活動がうまく行かず相談。	障がい者委託訓練 ジョブコーチ支援事業(職業センター)
26	精神	自閉症スペクトラム	20		18ヵ月		清掃	30時間以上	区役所	求職中	自営業を手伝っている。 就職活動についての相談	就労移行支援事業所
27	知的	自閉症スペクトラム	20		7ヵ月(転職)		事務補助	30時間以上	ハローワーク (障害者窓口)	在職中	一般枠で働いているが、うまく行かず相談	職業評価(職業センター) 職業準備支援(職業センター)
28	精神	ADHD	30	クローズ	5ヵ月		事務補助	30時間以上	ハローワーク (障害者窓口)	求職中	一般枠で働いた経験あり。 就職活動がうまく行かず相談。	職業評価(職業センター) 職業準備支援(職業センター)
29	精神	自閉症スペクトラム	40	クローズ	2ヵ月(転職)		看護師業務	20時間以上 30時間未満	ホームページ	在職中	一般枠で働いていたが、体調不良で休職中。 職場復帰を希望。	職場復帰するが、再就職の後、退職。 退職後、ハローワークで就職活動
30	精神	自閉症スペクトラム	30		4ヵ月(転職)		品出し 組立	30時間以上	困窮者支援	求職中	一般枠で働いた経験あり。 就職活動がうまく行かず相談。	ケースNo20 退職後、ハローワークで就職活動
31	精神	自閉症スペクトラム	30		55ヵ月		事務補助	20時間以上 30時間未満	ハローワーク (障害者窓口)	求職中	働いた経験なし、ひきこもり状態。 就職活動についての相談	障がい者委託訓練 就労移行支援事業所
32	精神	自閉症スペクトラム	20	クローズ	5ヵ月		調理補助	20時間以上 30時間未満	ホームページ	求職中	高校を平成28年9月に卒業 就職活動についての相談	職業評価(職業センター) 職業準備支援(職業センター)
33	知的	アスペルガー症候群 (知的障害重複)	40		70ヵ月		軽作業 (就労継続A型)	20時間以上 30時間未満	医療機関	求職中	就職活動についての相談	定期的な相談
34	知的	(知的障害重複)	20		20ヵ月		軽作業 (就労継続A型)	20時間以上 30時間未満	就労継続B	求職中	就労継続B型事業所から、 ステップアップについての相談	就労移行支援事業所 グループホーム
35	精神	アスペルガー症候群	30		30ヵ月	3ヶ月で退職	軽作業 (就労継続A型)	20時間以上 30時間未満	医療機関	求職中	退院後、就職活動についての相談	就労移行支援事業所
36	精神	アスペルガー症候群	30		3ヵ月(転職)		軽作業 (就労継続A型)	20時間以上 30時間未満	医療機関	求職中	退院後、就職活動についての相談	ケースNo36 A型事業所が閉鎖になり、ハローワークで就職活動
37	精神	広汎性発達障害	20		9ヵ月	10ヵ月で退職	軽作業 (就労継続A型)	20時間以上 30時間未満	ハローワーク (障害者窓口)	求職中	専門学校を休学中 就職活動についての相談	A型事業所を利用していたが退職 その後、ハローワークで就職活動
38	精神	広汎性発達障害	10		7ヵ月		軽作業 (就労継続A型)	20時間以上 30時間未満	区役所	在職中 クローズ	一般枠で働いていたが、苦勞することが多く発 達障害を疑って相談	家族との折り合いが悪く、一人暮らしを希望 A型事業所を利用しながら転職活動をすることに
39	精神	自閉症スペクトラム	30		15ヵ月(転職)		軽作業 (就労継続A型)	20時間以上 30時間未満	職業訓練校	求職中	職業訓練校で訓練を受けたが 就職が決まらず相談	支援後、3年間一般企業で働くが、会社都合で離職 その後、ハローワークで就職活動
40	知的	自閉症スペクトラム	40		12ヵ月(転職)		軽作業 (就労継続A型)	20時間以上 30時間未満	はーとふるばらざ	求職中	一般枠で働いた経験あり。 就職活動がうまく行かず相談。	職業訓練校を中途退校 その後、ハローワークで就職活動

地域就ポツとの事例・情報共有勉強会実施状況（平成 28 年度）

実施月	情報共有・検討内容
5月	コーディネーター事業の内容とその活用（周知）
6月	休職と復職を繰り返すケースの対応（医療、職場、支援機関との調整）
7月	障がい者手帳申請前に使える就労支援について
8月	威嚇・暴言・対人依存傾向のあるケースの対応
9月	困窮者支援との連携について
10月	会社に不満を訴えるケースへの対応
11月	家族に介護が必要になったケースへの対応
12月	学生への支援（家族に課題あり） 卒業後ひきこもりにならないよう、学校、医療、区役所と連携し就労支援につなぐ動きをしているケース
1月	学生への支援（障害者支援を拒否） わかものハローワークとの連携事例
2月	研修報告 シンポジウムでの発表内容の報告
3月	この一年の相談傾向について報告

セミナー等講演会への講師派遣による発達障がい理解の促進（平成 28 年度）

派遣先	対象者	参加数	内容
発達障害者雇用支援連絡協議会 （大阪障害者職業センター主催会議）			協議会委委員として参加 （年2回）
職場適応援助者養成研修	医療機関のケース ワーカー、福祉サー ビス事業者	40	講師（年2回） 発達障がい者の雇用・支援事例の 検討
医療福祉学院 （作業療法士学科）	作業療法士科2年生	30	発達障がい者の就労支援の実際
日本精神神経科診療協会児 童青少年問題関連委員会	精神科医医師、小児 科医師、心理士、教 員、保健師	200	シンポジウム 発達障がいを抱えるこどもだちの ゆくえ
大阪市教育委員会事務局イ ンクルーシブ教育推進担当 主催研修	市内全学校園の特 別支援教育コーデ ィネーターのうち、 校園長推薦を受け た受講希望の教員	50	発達障がい専門講座 就労支援とキャリア教育について

就業支援フェスタ等の開催による情報の収集・発信について

就職マナー講座の開催等

種別	会場等	参加者	来場者数	内容
一般教育 諸学校向け 講座 (普通高校) (定時制) (専門専修 学校等)	東朋高等専修学校 (出前講座)	在校生・家族・教職員・ 支援事業者・行政関係者	56	・社会資源活用や福祉サービ ス体験等の予約相談 ・SST などを用いたグルーブ ワーク
	大阪医療福祉専門学校 (出前講座)	在校生・家族・教職員・ 支援事業者・行政関係者	42	
	大阪医専 (出前講座)	在校生・教職員	35	基礎講座(発達傾向のある方 への理解と支援方法)
	四天王寺大学 (出前講座)	在校生・教職員	15	
	桃谷高校定時制 部 (出前講座)	在校生・家族(保護者会)・ 教職員(キャリアセンター担当者)	57	・家族向けに進路選択に関する 情報の提供 ・グループワーク(希望企業 などとの就業マッチングの コツ)
支援学校 支援機関 向け講座	天王寺区民センター (学校指定合同講座)	家族・地域学校教職員(在 校生)・地域支援事業者・ 地域行政関係者	78	・基礎講座(発達傾向のある 方への理解と支援方法) ・地域支援機関担当者による サービス説明・相談 ・学生就活相談コーナー ・日中活動場情報の提供 ・余暇支援情報の提供
	東淀川区民センター (市民向け合同講座)		12	
	西成区民センター (学校指定合同講座)		78	
	大阪市職業指導センター (市民向け合同講座)		21 4	
在校生向け 講座	思斉支援学校 (出前講座)	在校生・教職員	10	・就職前マナー実践講座(面 接・身だしなみなど) ・履歴書作成のための基礎講 座(書き方・自己アピールの 仕方など) ・SST などを用いたグルーブ ワーク(一般在校生向け就活 講座含む)
	東朋高等専修学校 (出前講座)		15	
	市立中央授産場 (出前講座)		8	
	Give&Gift (移行支援)		27	
	きょうばし (移行支援)		13	
	せふいろと (継続A型)		24	

【受講者の感想・意見】

学生・家族

- ・地域の支援事業の枠組みを知ることができたと同時に、現場減額等でその空気感に触れることができ、これから自分が持つべきイメージが広がった。
- ・様々な様態の社会資源が複数あることを実感でき、体験実習などに参加してみようと思った。
- ・学校では「選べるだけの選択肢」の提示がなかった。多種多様な選択肢から、自分自身に合ったものを選べるという気持ちになれた。
- ・地域の支援者の横のつながりを間直に見ることができ、大変心強く思った。
- ・今まで、全ての事業所で同じサービス科目だと思っていた。選択が可能だと知った（保護者）。
- ・福祉事業所に勤めたいと思っていたので、たいへん参考になった。同時に知識やスキルを身に付ける必要性を感じた。

支援者

- ・地域で開業する他事業所の今まで知らなかった支援内容を知ることができた。
- ・これまでの取り組みや知らない知識が得られた。各事業所担当者の熱意や思いなどを聞け、勉強になった。
- ・それぞれの就職後のフォロー（定着支援）などがどのようなものか等をより詳しく聞きたかった。
- ・若い世代の力を感じるとともに、障がい者という視点だけではなく、次の世代の若者をどう育成するかが大切な視点だと思った。

障がい者就労支援フェスタの開催

障がい者就労支援フェスタ	190 (49 機関)	シンポジウム 「企業の求める人材とは」 シュウカツノートの配布
--------------	----------------	---------------------------------------

【受講者の感想・意見】

- ・具体的な事例と、そこから得られたコツが明確であり、具体的なイメージがしやすかった。現場に活かせる。
- ・どんなことが就労のキーポイントになるのか、考えるきっかけがもらえました。
- ・中学校のクラスの中で発達障がいの子供たちを対応している。今、目の前のことだけでなく未来の就職についても意識する必要性を強く感じた。しかしやはり一番の難しい点は親の理解であると思っている。
- ・小学生から高校生を対象に支援している。卒業の後の見通し、就労についての知識が無いと適切な支援が難しいことがある。特に就労に当たり何が困難となるのか聞いたことが、今後につなげられそうです。
- ・社会の中の発達、試行錯誤、連携、明るく支える、いろんなことを教えてもらいました。
- ・進学や就職の際、発達障がいについて当人が理解し、支援を求められるよう学校教育で身につけて行かなければならないと思った。
- ・各機関がリレーを行いながら障がいを抱える人へのサポート、治療を行って行ければと思いました。